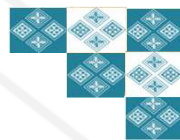


# 世界自然遺産推進事業 ～人類共通の財産を次の世代へ～



自治体の紹介

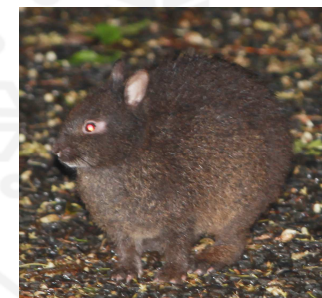
背景

現状の課題

## 奄美大島

鹿児島市の南西約380kmに位置する外海離島  
面積約720平方キロメートルで沖縄本島、佐渡島に次ぐ面積

豊かな自然環境や生物多様性  
→令和3年7月26日「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」として国内5例目の世界自然遺産に登録。  
国内では最後の世界自然遺産になると言われている。



アミノクロウサギ

## 自然環境の持続可能な観光活用

国内の世界自然遺産地域として唯一、「市域」に遺産地域が存在。観光客が気軽に自然遺産地域にアクセスできる。



マングローブ林



金作原(きんさくばる)

奄美随一の繁華街  
屋仁川通り



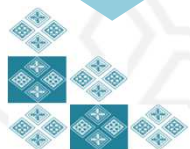
市街地から自然体験スポットまで車で50分以内



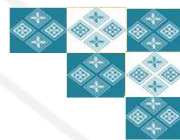
名瀬市街地

## 奄美の自然環境を「将来の世代に引き継いでいく」

身近な自然環境に世界的な価値があることについて地元住民の認識が充分でない。



# 世界自然遺産推進事業 ～人類共通の財産を次の世代へ～



事業の  
目的

世界自然遺産として「人類共通のかけがえのない財産」となった奄美の自然環境を「将来の世代に引き継いでいく」ために、国や鹿児島県、奄美大島内の他町村とも連携し、希少な野生動植物をはじめとする環境保全対策と、地元住民や学生、観光客にも奄美の自然の豊かさを認識していただくための情報発信や環境教育に取り組む必要がある。

## 環境保全

- ウミガメ保護：保護監視員の委嘱
- サンゴ礁保全：オニヒトデの駆除、サンゴ礁のモニタリング調査
- 希少野生動植物保全対策：盗掘・盗採防止パトロール
- ノネコ対策：奄美ノネコセンター管理、ノネコ譲渡、ノラネコのTNR事業、飼い猫避妊・マイクロチップ装着の助成

## 情報発信・環境教育

奄美大島世界遺産センター（令和4年7月26日開館）運営



奄美大島世界遺産  
センター外観（左）  
展示スペース（下）



サンゴ礁モニタリング



希少種パトロール



アマミセイシカ（絶滅危惧種）



事業  
内容

# 世界自然遺産推進事業 ～人類共通の財産を次の世代へ～



得られる  
成果等

## 成果・解決される地域課題

- 自然環境の「保全」と「活用」の二つの視点の両立と、持続可能な観光活用による  
**地域の活性化**
- 奄美の自然の豊かさの周知によって、  
**人類共通の財産を次の世代へつなぐこと**



八月踊り



大浜海浜公園

寄附を  
する  
メリット等

## 企業の皆さまのメリット

- 世界自然遺産という地球規模で評価された自然環境の保全に関する事業への参画、貢献のPR**
  - 奄美市HP,世界自然遺産(奄美大島)特設HPでのご紹介
  - 世界自然遺産推進共同体とのマッチング機会の創出
- ※鹿児島県内企業・団体を中心に運営する共同体の皆様をご紹介します。  
新たなパートナーシップ構築が期待されます。



## 連絡先

奄美市市民部世界自然遺産課遺産政策係  
TEL0997-52-1111 Mail:wnhs@city.amami.lg.jp

